

シートベルトをしめましょう！！

田の雪も消え始めてきたし。さてとおそろそろトラクターの準備さねねな～
いやしかし…去年は危ね思いしたっけなあ～まさかきやるとわな…

でもオラだば常に「注意一秒・怪我一生」の精神を忘れてねし!?
もちろん「ヘルメット」も「シートベルト」もし～かり着けるしなあ…
いやあしかし「安全キャブ・フレーム」は取り付けででいがったわ…



思い出す
だけでも
冷や汗が
止まらね

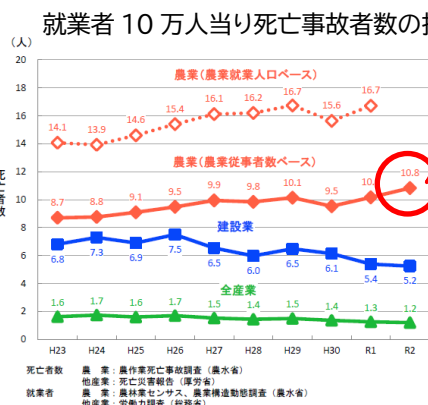
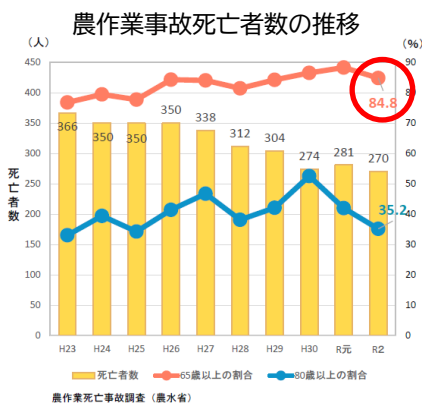
今月号のお題は「シートベルトをしめましょう！」

3月1日から「春の農作業安全確認運動(農水省)」が始まります。

1) なかなか減らない農作業事故死亡者…他産業との差は拡大傾向

皆さん年間の農作業事故で亡くなった方の人数を知っていますか？
なんと令和2年で270人もの方がお亡くなりになっているのです…
この人数が多い少ないが分かるデータとして建設業との比較がよく使われますが
建設業と比べて農業のほうが2倍以上も死亡事故が多いようです。

(令和2年 農業従事者数ベースの10万人あたりの死亡事故数での比較)



農業 10.8人
建設 5.2人
約2倍…

右肩上がり
増えているのは
大問題だなあ
高齢者の割合も
高い水準だしなあ



(注) 就業者10万人当り死亡事故者数の算出において就業者として使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から農業従事者数を使用して算出。 2

2) 農業機械作業に係る事故、特に乗用型トラクターの事故が多い

令和2年の農作業死亡事故を要因別にみると「農業機械作業に係る事故」が186人(68.9%)と最も高いようです。特に**乗用型トラクターに係る事故**が81人と最多で、その中でも「機械の転落・転倒」による死亡者が53人とこのことです。

◆ 農水省では農業機械作業の死亡事故を令和4年までに

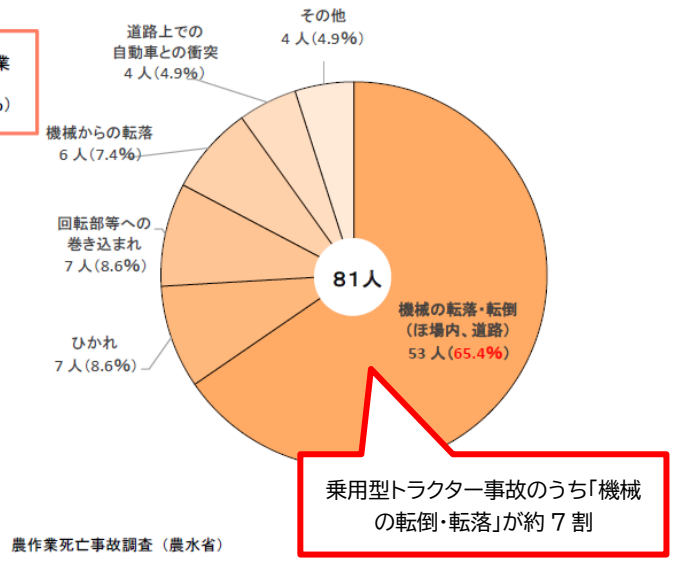
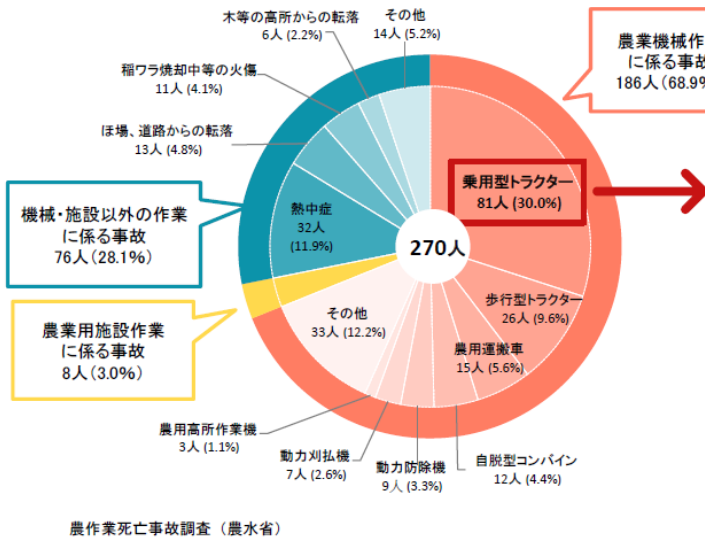
平成29年の211人から105人に半減する目標を立てています。

↓裏面にも「要因別の死亡発生状況グラフ」などが続きます↓



要因別の死亡事故発生状況(令和2年)

乗用型トラクター事故による死亡の要因(令和2年)



3) 自動車とトラクターは何も変わりません。『しめよう！シートベルト』

自動車は平成20年6月1日からシートベルトの着用は全席義務になったことは皆さんももちろんご存知でしょう。今では後部座席もしっかりシートベルトを締めるのが当たり前になりましたよね！

さて 農業機械での現状シートベルトを着用していない主な理由のとしては・・・残念ながら・・・

「危険と感じない」「必要性を感じない」「習慣がない」「面倒」などといった要因が挙げられたそうです。



(農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策に関する有識者会議 2022/1/18 三菱MFJRI&コンサルティング資料より引用)

令和4年春の農作業安全確認運動の重点推進テーマは『しめよう！シートベルト』

自動車だから…トラクターだからではなく…ご自身やご家族のケガや死亡につながる事故を防ぐために シートベルトを着用して作業をしましょう！命を守りましょう！！

